

2019年3月期  
決算発表説明資料



2019年5月14日  
エンシュウ株式会社  
(東証一部 6218)

## I. 連結決算概要

### ● 全社

- (1) 経営成績
- (2) 事業部門別売上高・営業利益

### ● 工作機械関連事業部門

- (3) 売上高(地域別)・営業利益
- (4) 受注高・受注残高

### ● 輸送機器関連事業部門

- (5) 経営成績

### ● 財務状況

- (6) 総資産・借入金・自己資本比率

### ● 配当

- (7) 配当方針・復配・配当予想

## II. 中期経営計画 進捗

### ● 全社連結

## III. 参考資料

### ● 四半期業績推移

### ● 経営指標等の推移

# I. (1) 全社 経営成績

## ●2018年度 通期業績概要 【増収増益 営業利益 約40年ぶりの高水準】

国内外における堅調な受注を背景に、工作機械関連事業が大幅に伸び、全社売上高30,747百万円（前期比31.0%増）と大幅な増収。

営業利益についても、増収に加え原価低減を徹底した結果、大幅なコストダウンを実現し、営業利益2,599百万円（前期比179.9%増）と大幅な増益となり、約40年ぶりの高水準。

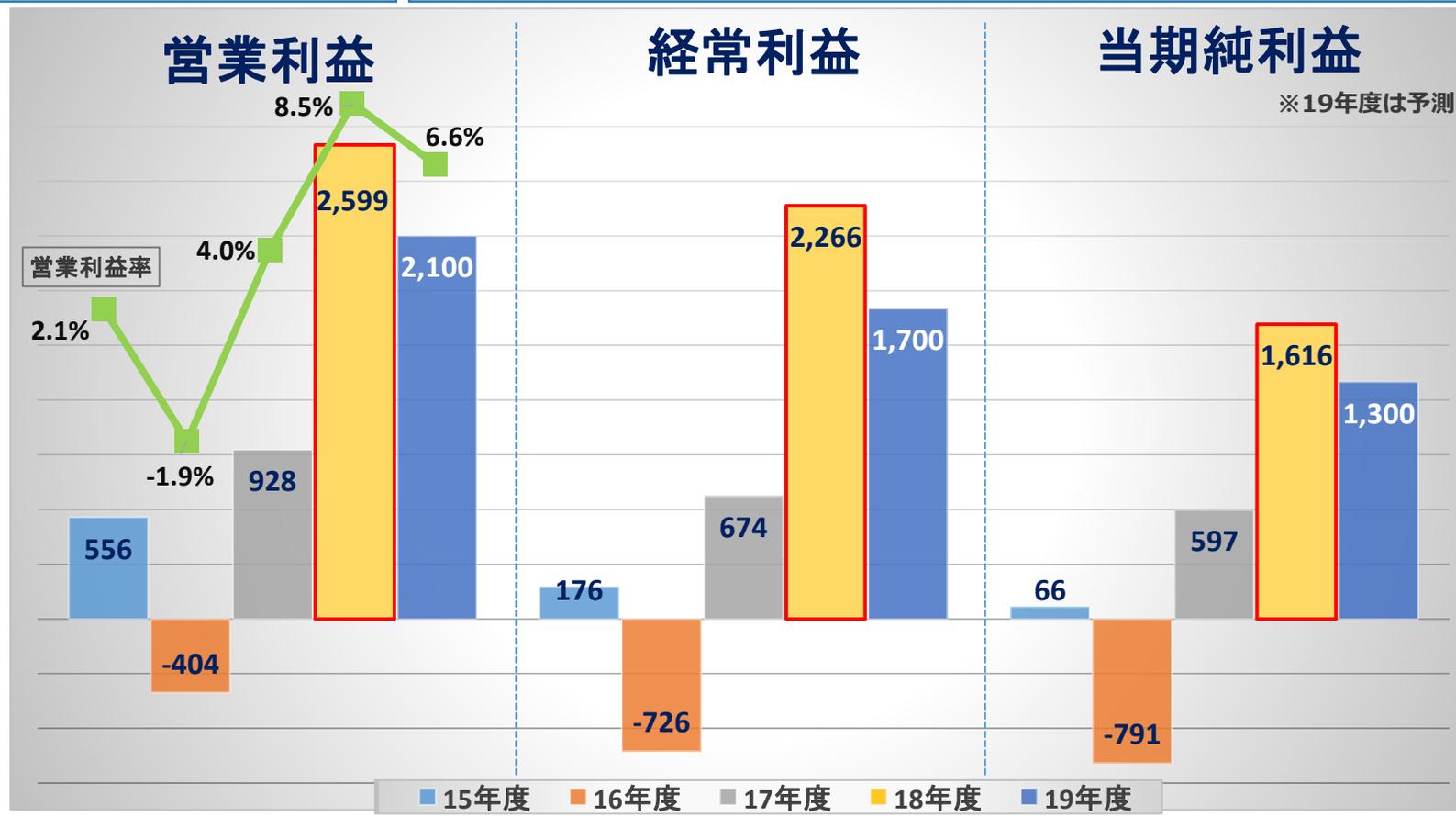
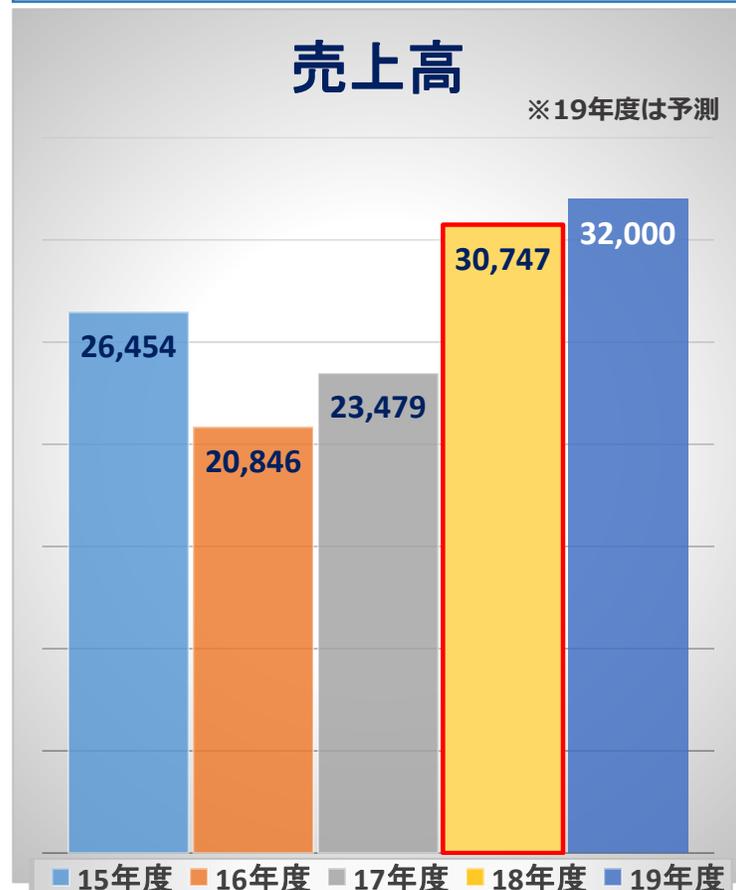
2019年3月期は11年ぶりの復配（1株当たり10円）を予定。

## ●2019年度 通期業績見通し 【増配・記念配当】

売上高については、工作機械関連事業が引き続き堅調に推移し増収が見込まれ32,000百万円（前期比4.1%増）を予想。

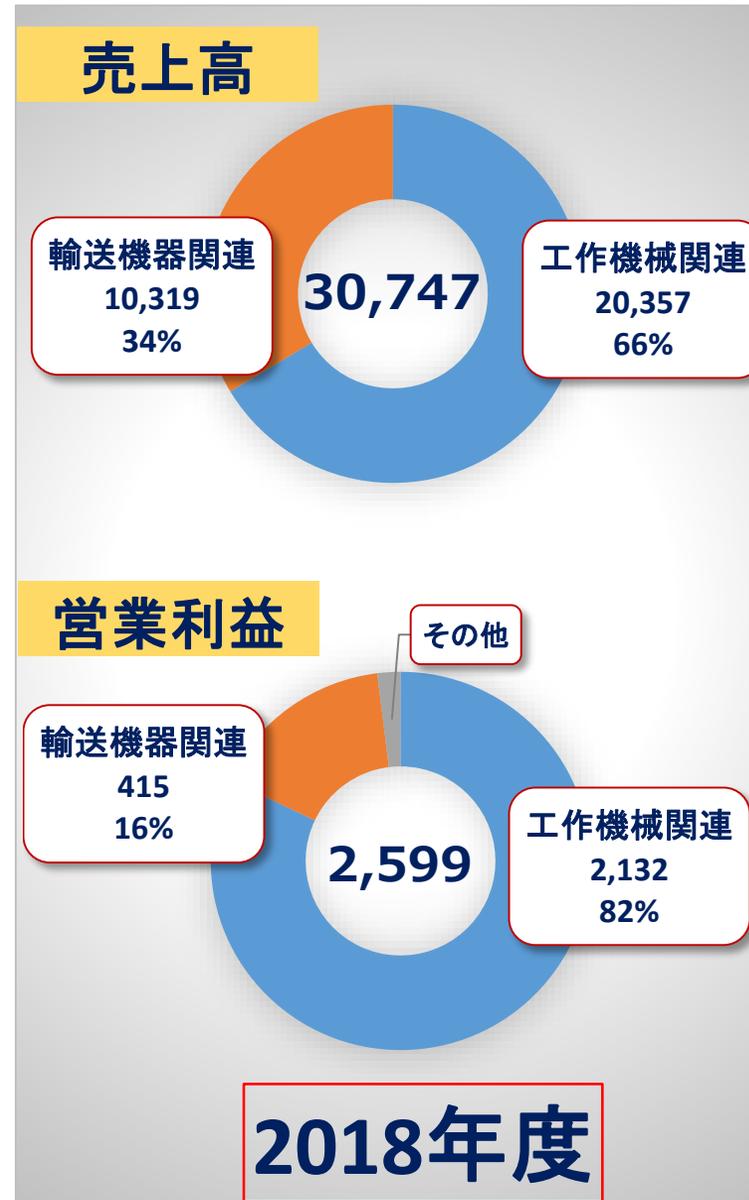
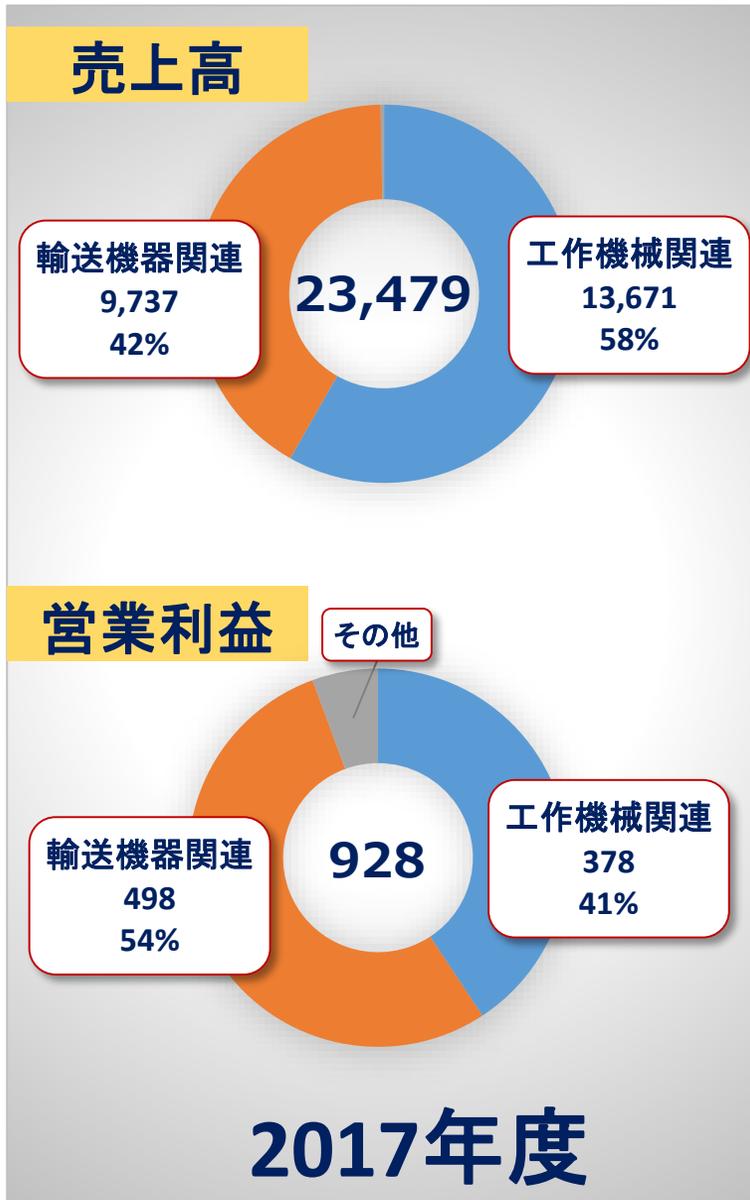
営業利益については、輸送機器関連事業は国内が不調見通しであることと、設備投資動向の不透明感や円高リスクを踏まえ、営業利益2,100百万円と減益の計画。

また2020年3月期の配当は、復配より5円増額をし、記念配当15円を含め1株当たり30円を予定。



# I. (2) 事業部門別 売上高・営業利益

(単位:百万円)



## ●2018年度 通期業績概要

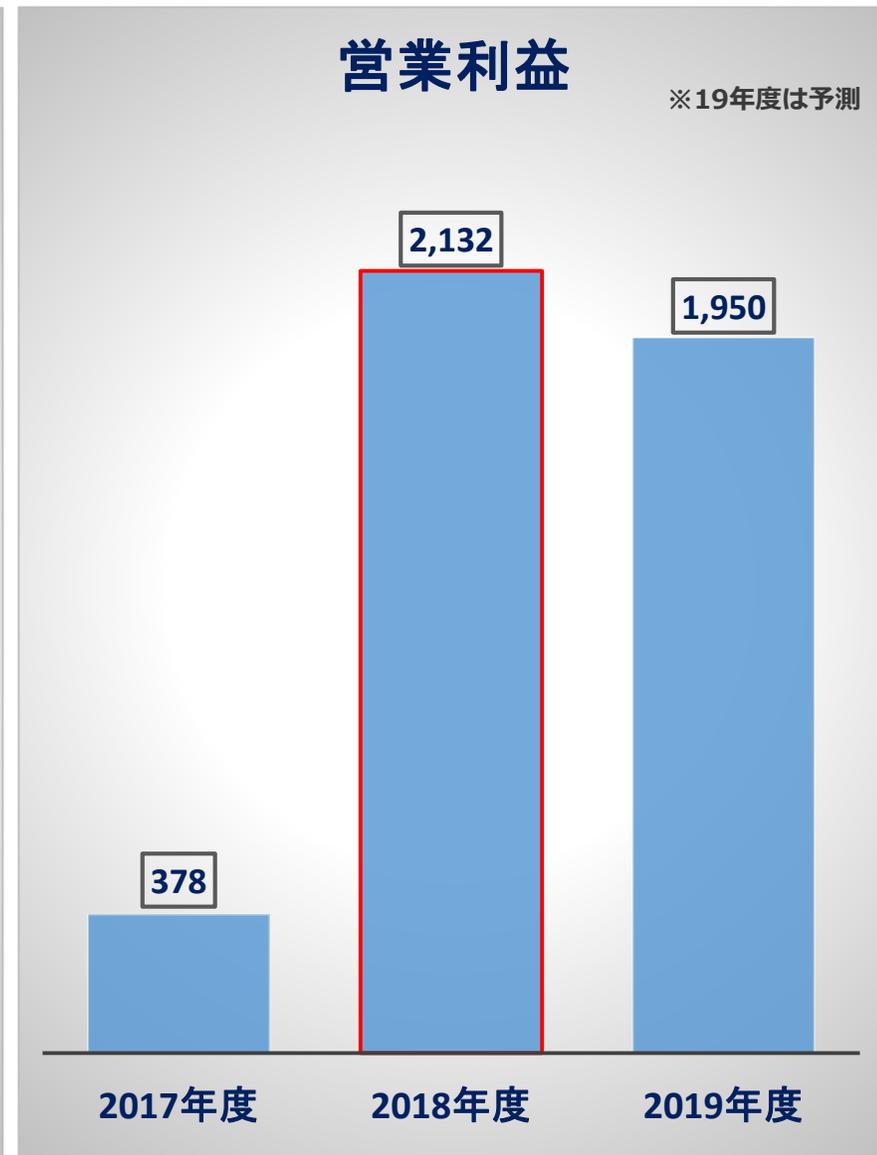
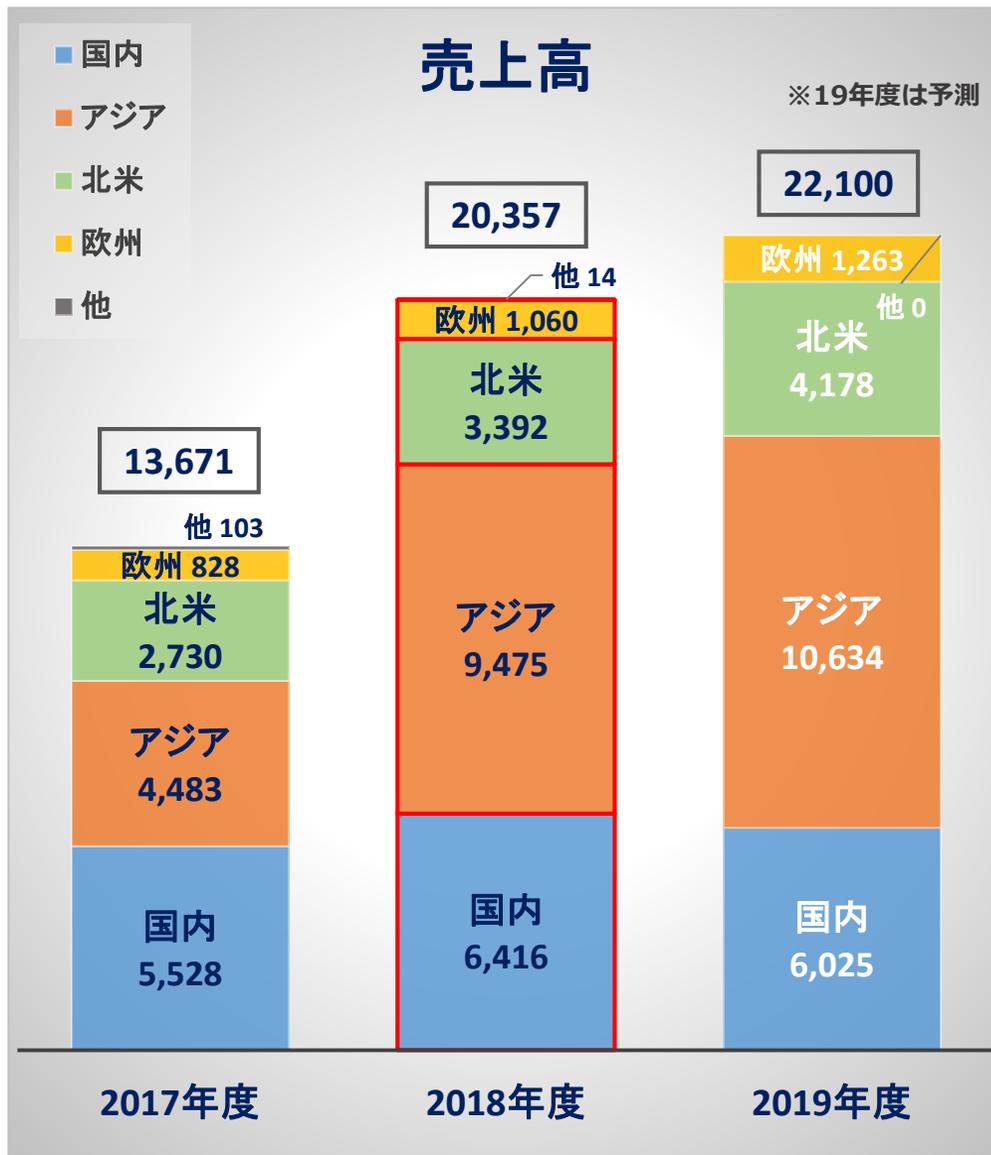
売上高については、国内外における堅調な受注を背景に、アジアを中心に大きく売上を伸ばし、売上高は20,357百万円（前期比48.9%増）。

損益面においても、案件毎による技術面での原価低減の徹底や、製造面での効率アップ等の施策効果に加え、利益率の高い案件が収益に貢献したこともあり営業利益2,132百万円（前期比463.3%増）と大幅な増益。

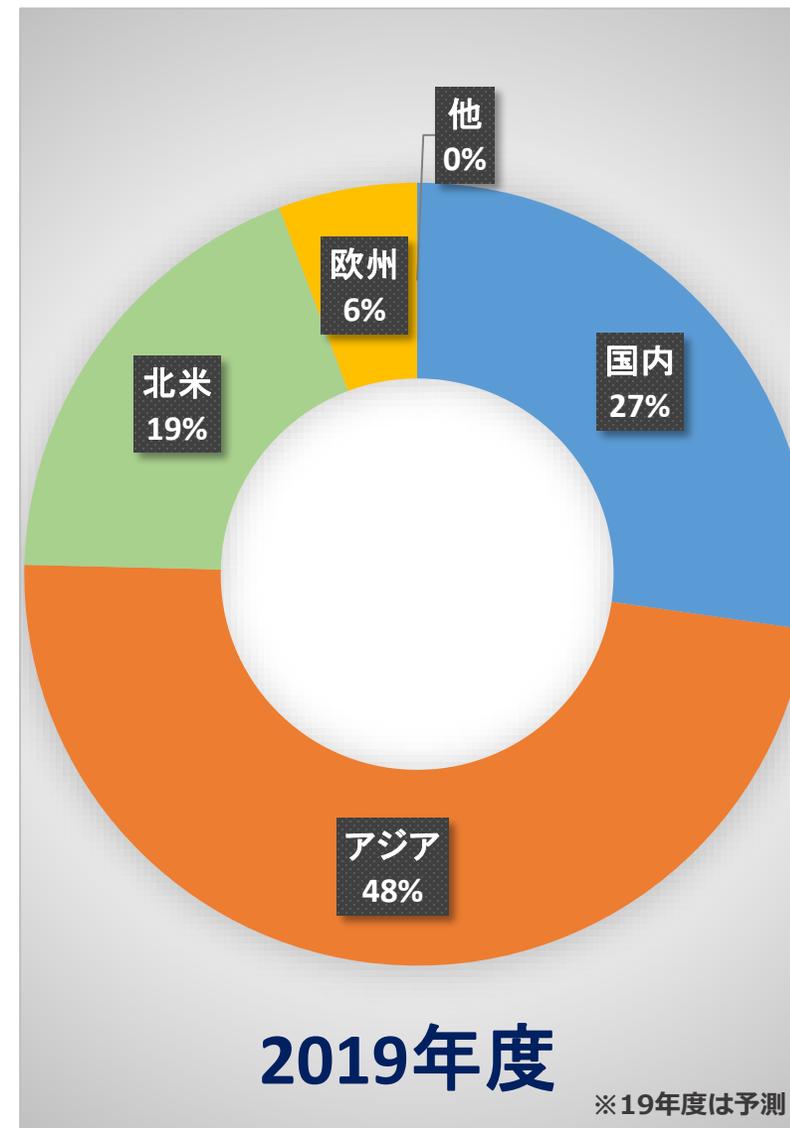
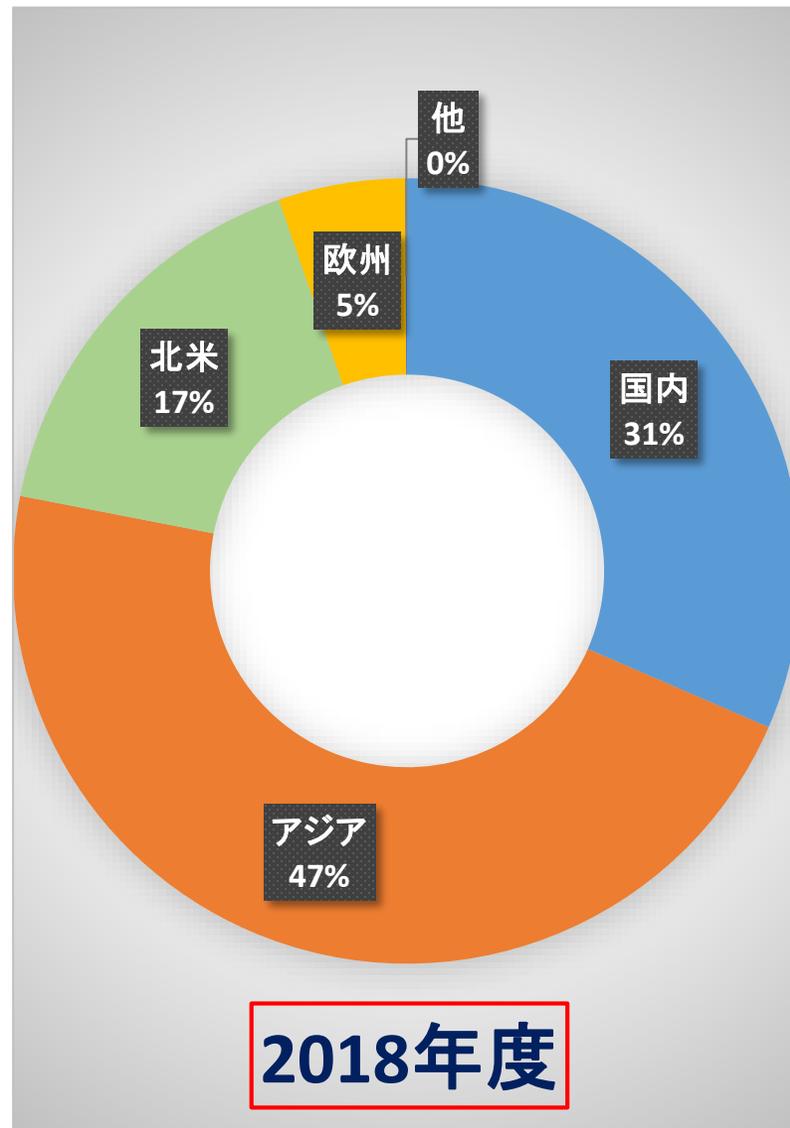
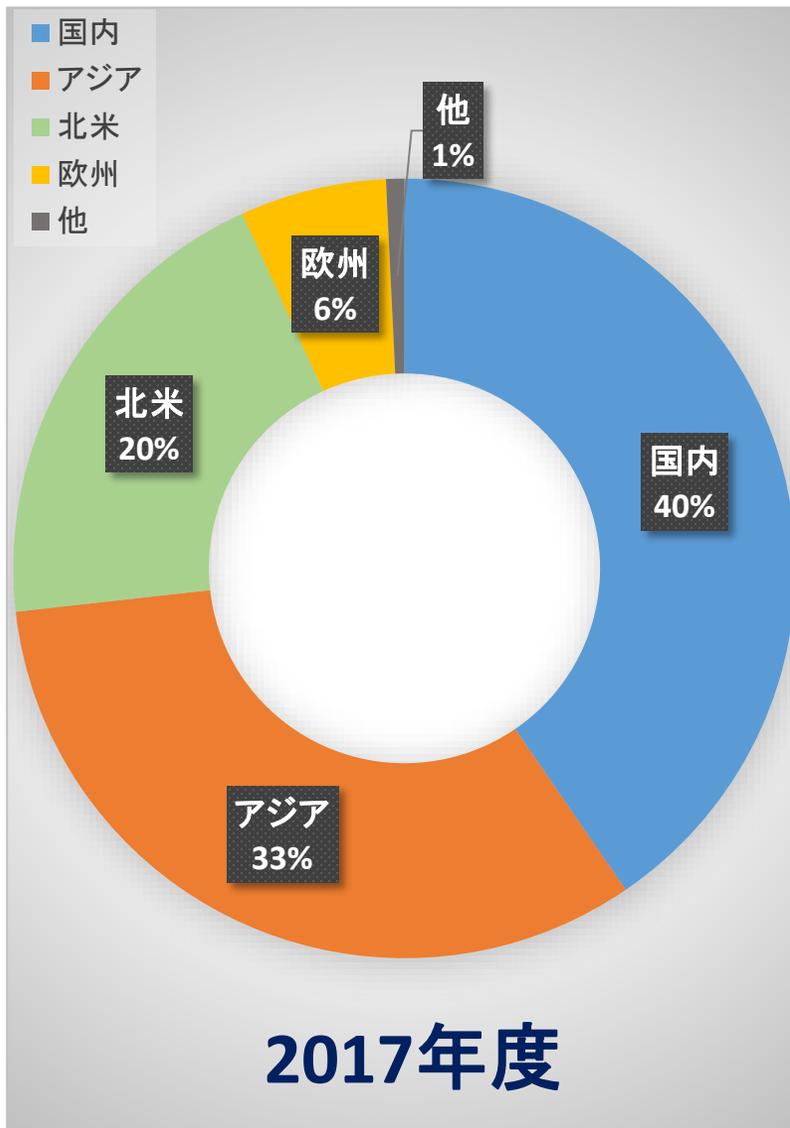
## ●2019年度 通期業績見通し

高水準の受注残高や引合状況を背景として、売上高については、中国は約13%減の予想であるものの、中国以外のアジア地域において増加を見込んでおり、増収予想。

損益面につきましては、減収見込みではあるものの、収益改善施策を継続することにより高水準を維持し営業利益1,950百万円の見込み。



# I. (3) 工作機械関連事業部門 地域別売上高比率



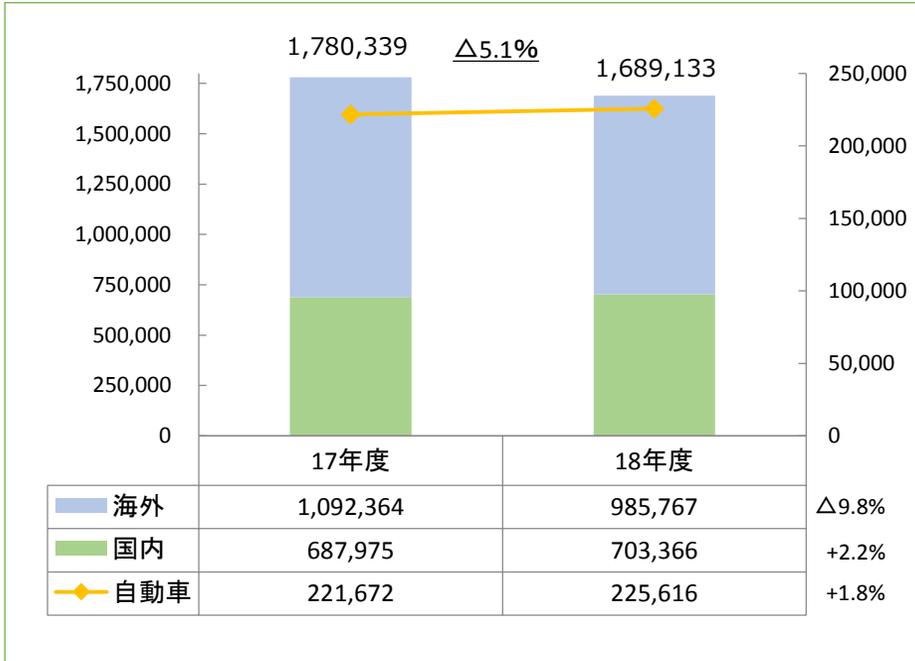
# I. (4) 工作機械関連事業部門 受注高・受注残高

(単位:百万円)

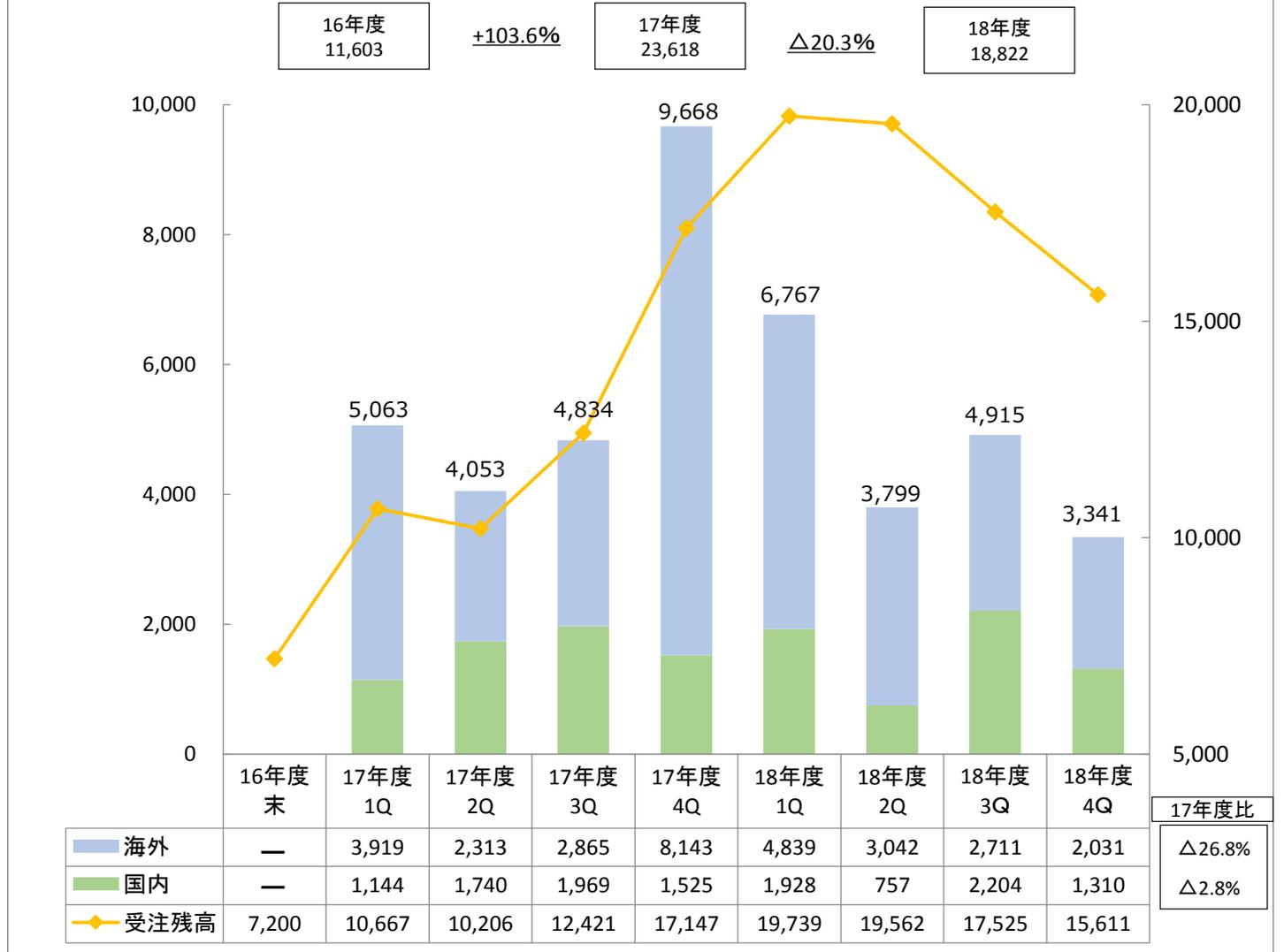
2018年度の日工会の受注総額は、1兆6,891億円と過去2番目に高い水準。しかし、年度後半には、米中貿易摩擦の影響等により中国市場に減速が見られるなど懸念材料が出ている。

当社は受注確保のために国内外において積極的な営業活動を行った結果、高水準の受注を継続。2019年度についても引合を多く抱えており、受注目標190億円を見込む。豊富な受注残高と合わせ、2019年度以降の売上確保を目指していく。

## ☆日本工作機械工業会受注推移



## ☆当社の連結受注高及び連結受注残高推移



# I. (5) 輸送機器関連事業部門 経営成績

(単位:百万円)

## ●2018年度 通期業績概要

売上高については、国内が増収したことから10,319百万円（前期比6.0%増）となりました。

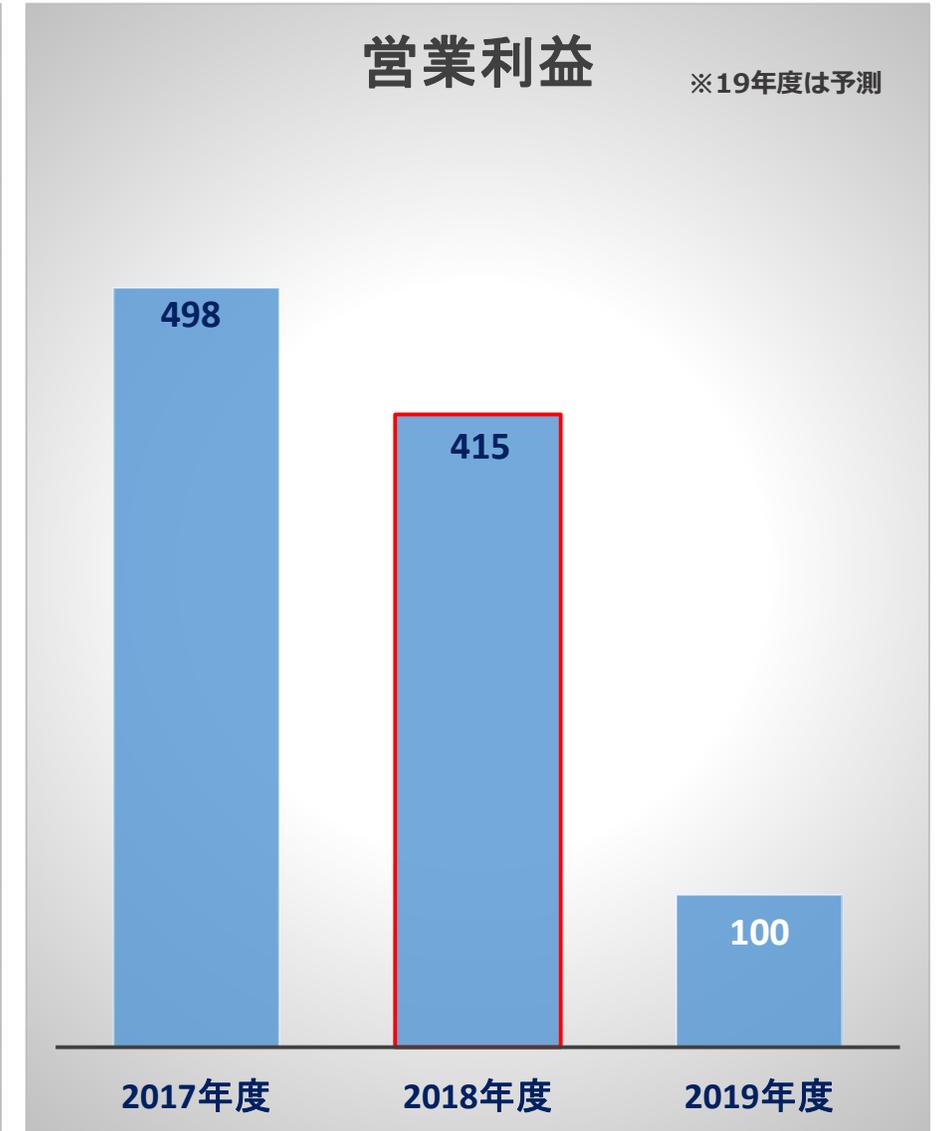
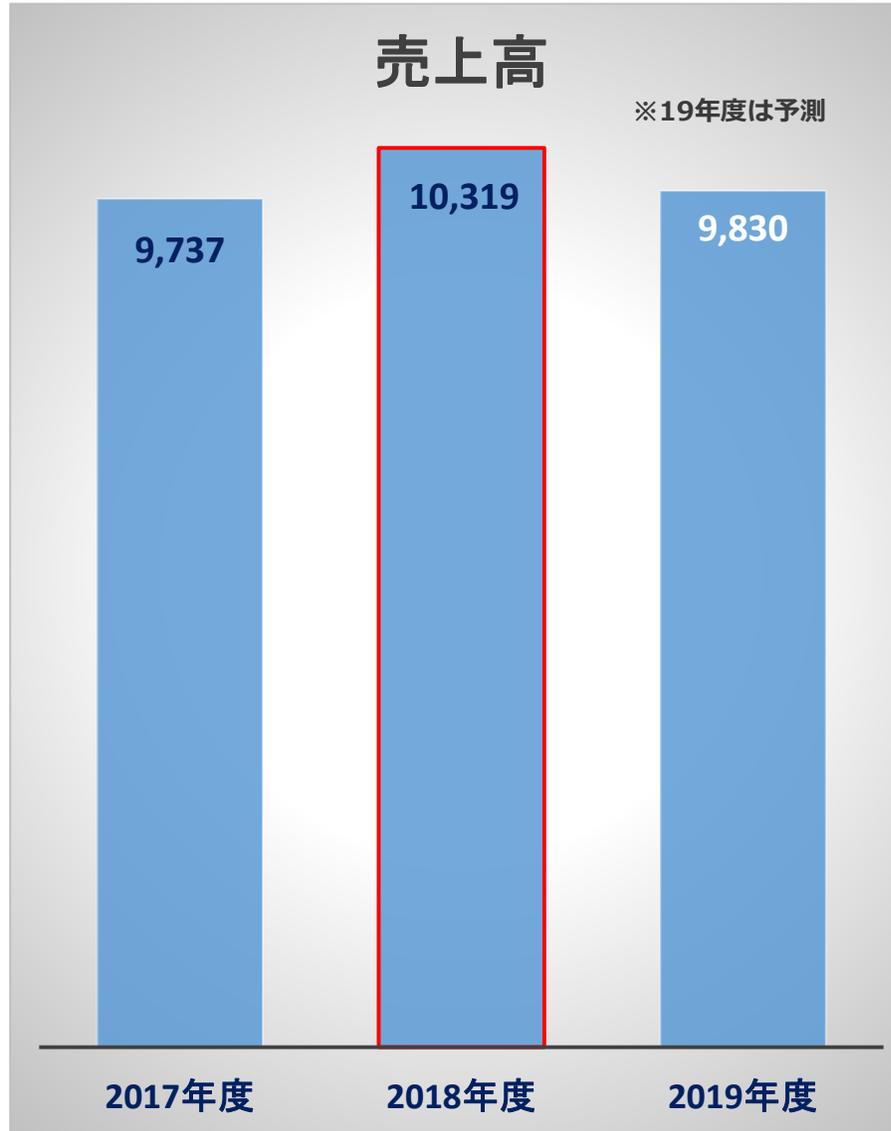
営業利益については、固定費削減や生産性向上活動に努めましたが、経費負担が重く営業利益415百万円（前期比16.7%減）となりました。

## ●2019年度 通期業績見通し

売上高については、国内はヤマハ、四輪共に減少する見込みであり売上高9,830百万円（前期比4.7%減）を予想しております。

営業利益についてはベトナム現地法人は安定した収益を見込めるものの、国内減益分をカバーできず営業利益100百万円（75.9%減）を予想しております。

今後に向けて営業体制整備を推進し、工作機械の営業部門と一体となり【エンシュウの強み】である自社で製造した機械を使用した加工事業（機械メーカーとユーザーの両側面）のアピールを行い、新規案件の受注に向けた営業活動を進めてまいります。



# I. (6) 財務状況 総資産・借入金・自己資本比率

(単位:百万円)

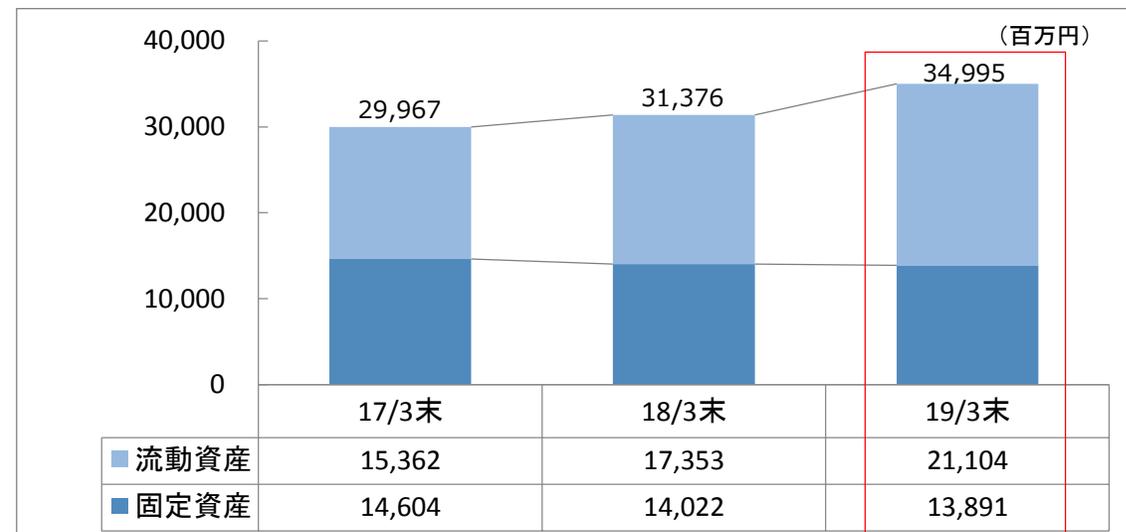
## ●財政状態

売上高の増加に伴い、流動資産が増加しております。

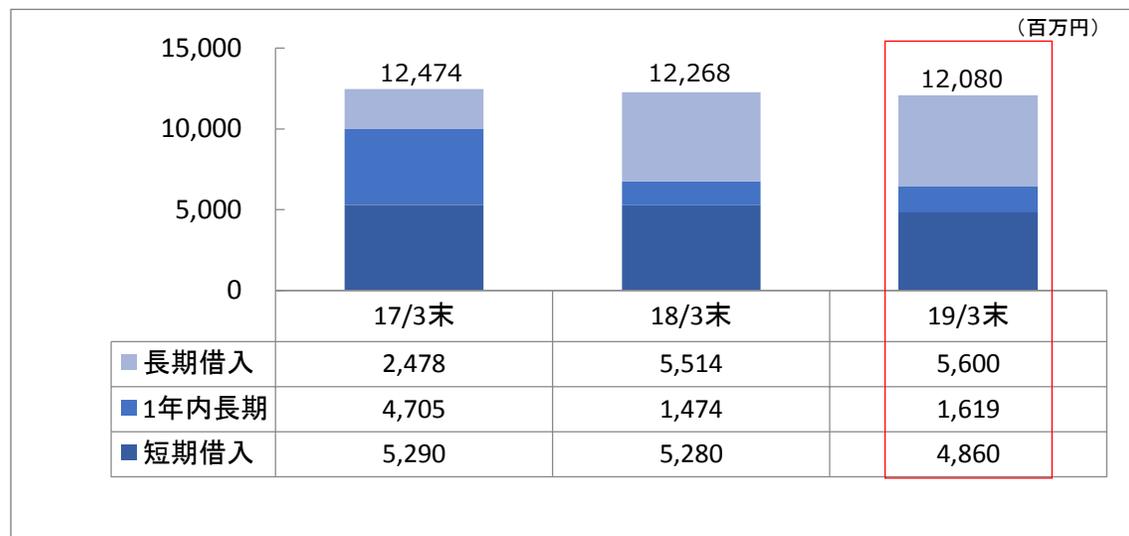
2019/3末の借入金残高は、前期末比約2億円の返済を行い、12,080百万円となりました。

(総資産18/3末比 +3,619百万円)

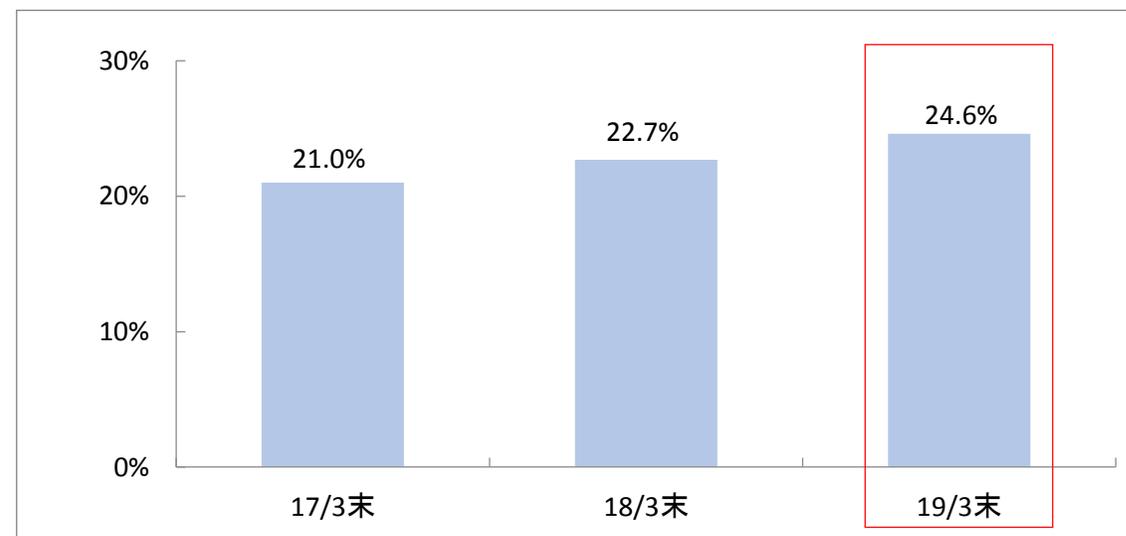
## 総資産



## 借入金



## 自己資本比率



# I. (7) 配当方針・復配・配当予想

## ●配当方針

当社は個別財務諸表の利益剰余金がマイナスであったことにより、長年無配の状態でございました。2019年3月期末にて利益剰余金が黒字に転じたため、2019年3月22日公表の通り1株当たり10円の配当を予定しております。

当面は、利益の最大化を図りながら利益剰余金を積み増し、財務体質の強化と安定的な配当を継続していくことを基本的な方針としてまいります。

## ●増配・100周年記念配当

上記方針のもと、2020年3月期の配当金につきましては、通期業績予想を勘案した結果、復配より5円増額し1株当たり15円の期末配当を予定いたします。

また当社は2020年2月に会社設立100周年を迎えます。つきましては株主の皆様には感謝の意を表し、2020年3月期の配当金は普通配当15円に記念配当15円を加え、期末配当を30円とする予定といたします。

### 普通株式に係る年間配当予想(2019年3月期及び2020年3月期予想)

基準日		普通株式1株当たり配当金					個別利益剰余金 (百万円)	
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
2019年3月期 (復配)	普通配当	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 10.00	円 銭 10.00	2019年3月末 (実績)	758
	普通配当	-	0.00	-	15.00	15.00	2020年3月末 (予想)	1,695
2020年3月期 (予想)	記念配当	-	0.00	-	15.00	15.00		
	合計	-	0.00	-	30.00	30.00		

### ●中計目標の繰り上げ達成

2017年5月に「長期ビジョン、新中期経営計画」を発表し、2019年度売上高29,000百万円、営業利益率5%を目標としております。2018年度実績として目標値を1年前倒しで達成する結果となり、2019年度も目標を上回る水準を見込んでおります。つきましては、2020年3月期の配当金は増配・記念配当を行う予定でおります。

	中計目標 (2017/5公表)	実績		業績予想
	2019年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	29,000	23,479	30,747	32,000
営業利益率	5.0%	4.0%	8.5%	6.6%
営業利益	1,450	928	2,599	2,100

(累計期間)

						セグメント			
		売上高	営業利益	経常利益	純利益	工作機械関連		輸送機器関連	
		売上高	営業利益	経常利益	純利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
2017年3月期 (149期)	第1四半期	4,287	△ 161	△ 215	△ 229	1,775	△ 209	2,494	35
	上期	10,386	△ 170	△ 304	△ 340	5,158	△ 268	5,192	72
	第3四半期	14,363	△ 419	△ 576	△ 620	6,661	△ 694	7,648	236
	通期	20,846	△ 404	△ 726	△ 791	10,438	△ 850	10,337	394
2018年3月期 (150期)	第1四半期	4,150	△ 1	△ 34	△ 48	1,596	△ 162	2,536	148
	上期	11,110	444	315	280	6,110	127	4,964	290
	第3四半期	16,163	569	371	320	8,729	112	7,380	418
	通期	23,479	928	674	597	13,671	378	9,737	498
2019年3月期 (151期)	第1四半期	6,755	333	271	216	4,175	150	2,561	170
	上期	13,460	819	653	581	8,150	482	5,274	311
	第3四半期	23,047	1,902	1,661	1,049	15,101	1,445	7,892	418
	通期	30,747	2,599	2,266	1,616	20,357	2,132	10,319	415

決算期	146期	147期	148期	149期	150期	151期
	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3
売上高(百万円)	31,060	29,921	26,454	20,846	23,479	30,747
営業利益(百万円)	1,442	-160	556	-404	928	2,599
営業利益率(%)	4.6%	-0.5%	2.1%	-1.9%	4.0%	8.5%
経常利益(百万円)	1,565	-411	176	-726	674	2,266
当期純利益(百万円)	1,459	-582	66	-791	597	1,616
純資産(百万円)	7,905	7,711	7,234	6,297	7,113	8,605
総資産(百万円)	35,965	34,476	32,952	29,967	31,376	34,995
ROE(%)	19.5%	-7.5%	0.9%	-11.7%	8.9%	20.6%
自己資本比率(%)	21.8%	22.4%	22.0%	21.0%	22.7%	24.6%



2020年2月

おかげさまでエンシュウは  
創立100周年を迎えます

**ENSHU**  
エンシュウ株式会社

本説明資料に記載いたしました業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。